

かほだより

暑熱対策を再確認！ 酷暑に打ち克つ！！

年ごとに暑さが長く厳しくなっています。暑熱下の鶏は食下量が低下し、体重・産卵率・卵殻質が低下します。暑熱が酷いと熱死します。本格的な暑さが来る前に対策を講じましょう。

熱死

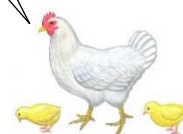
起こる要因

- ！ 急激な気温上昇
- ！ 最低気温と最高気温の差が大きい
- ！ 高温かつ高湿度

起こりやすい時期

- ！ 梅雨の前に急激に気温上昇したとき
- ！ 梅雨と気温上昇が同時に来たとき

天気予報を確認して
事前予想しましょう！



設備面の対策



断熱・除熱

- 遮光（寒冷紗の設置等）
- 反射（石灰乳の塗布等）
- 屋根や壁に断熱塗料や建材の設置
- 蓄積鶏糞（熱源）の除去

特に **西日が当たる場所** で熱死が多い
ため、重点的に対策しましょう！



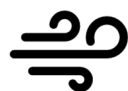
散水・細霧

- 湿度 30%程度で気温の高い日は約 13℃
低下させる効果

- 屋根散水は、屋根が熱くなる前の午前
から散水して熱のピークを下げる

！ **水を利用するときは送風が必要**
(風を使わないと湿度が上がリ不快指数↑)

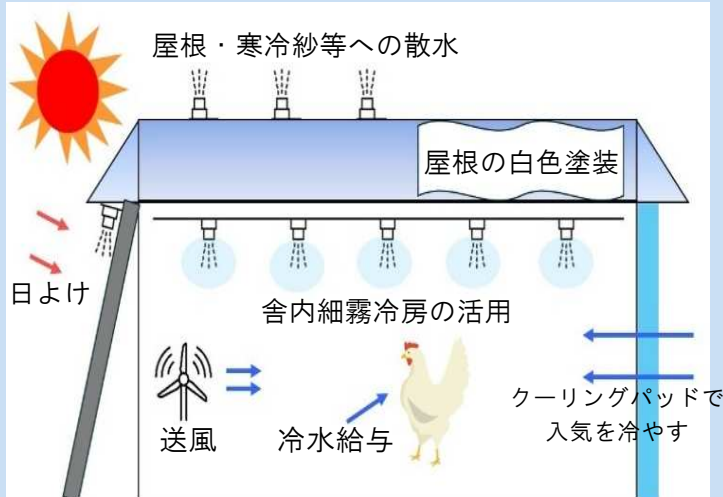
！ **夕方 15 時以降は湿度が上昇するため
実施しない**
(高湿度下で鶏舎がサウナ状態に🔥)



送風

最重要

- 鶏は汗をかけず、羽を広げて体の熱
を逃がすので、**暑熱時は送風が必須**
- 風速 2 m/秒で体感温度が約 5～
13℃程度下がる



飼養管理面の対策



飼料の工夫・添加剤

- 暑熱下の鶏は食下量が低下するため、飼料の栄養成分（エネルギー・蛋白質）を高くしたり、不足分を添加剤（アミノ酸・ミネラル）等で補って少ない量で高い栄養を摂取させる
- ビタミン剤や重曹、生菌剤の添加も有効



鶏の密度・動き

- 収容数を減らして密度を下げる
- 【ケージ飼いの場合】
騒がせない（熱の発生予防のため）
- 【平飼いの場合】 特にブロイラー
鶏の動きが悪くて熱がこもるので
定期的に鶏舎内を巡回して鶏を動かし
熱を逃がす



冷水の給与

- 鶏は夏場のぬるい水を飲みたがらず、飲水量が少ないと、その分食下量も減少
- 夏場の飲水は、**冷水給与で食下量が多く産卵率が良い**
- 給水器のフラッシュ、貯水タンクの遮光・断熱、ピックの位置が飲みやすいか再確認
- できれば氷水を給与
（少羽数の場合は発泡スチロール箱に氷水を入れて給与すると鶏が喜んで飲む）

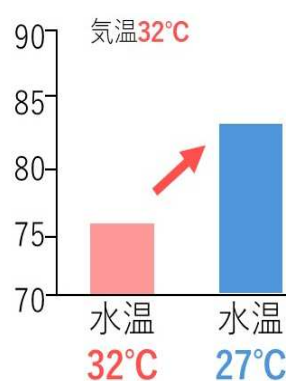
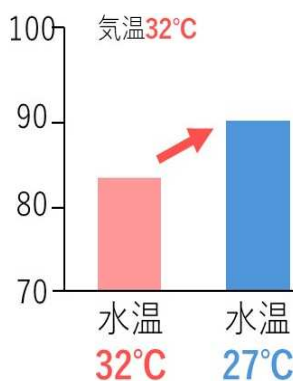


給餌方法の工夫

- 暑い時間に鶏は食べないので、**涼しい朝や夕方、夜間に給餌時間をずらす**
- 餌の形状をマッシュからペレットやクランブルに変更
- 空の給餌器を稼働、人の手で餌ならし、餌桶を棒でトントン叩いて歩くなどし、**採食刺激をこまめに与えて、残っている餌を食べさせる努力をする**
- 給餌間隔を拡大して、給餌前に餌桶を空にして**ハングリー精神を働かせる**
- 少羽数の場合は練り餌も有効

食下量(g/日)

産卵率(%) (Bell,1987)



◀（左図）夏場の給水温が食下量に及ぼす影響

冷水給与で食下量が増える

◀（右図）夏場の給水温度が産卵率に与える効果

食下量が増えることで産卵率が改善

複数の対策を組み合わせることで夏に備えましょう!!

📞お問い合わせ

- 鶏舎内の風速・鶏体の体表温度測定をしています。
- ご希望の方、その他ご相談も含めお気軽にご連絡ください。【保健衛生課：0263-47-3223】

